

RYOBI

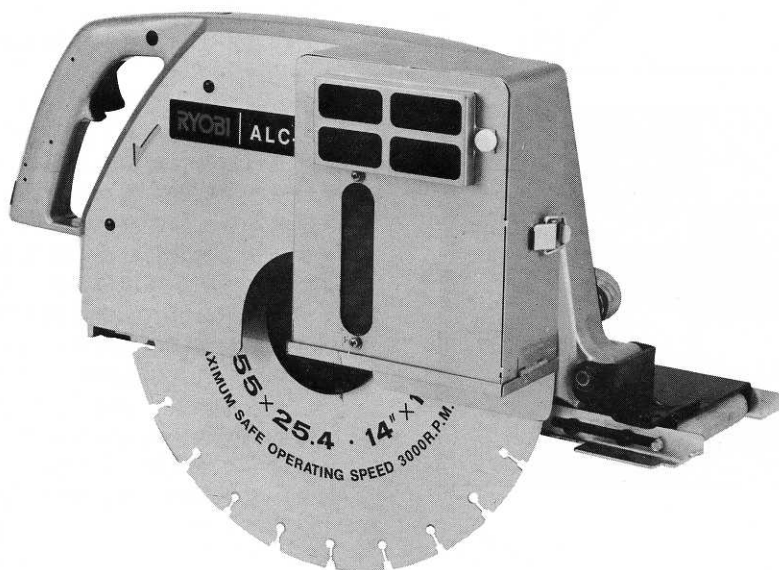
ALCカッター

ALC-355

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982108



※ダイヤモンドブレードは別販売です。

●特 長

- 集じん装置付きで快適な作業ができます。
- 軽量で使いやすい設計は作業性に大変優れています。
- 過負荷によるモーター焼けを防止するサーキットプロテクター(モーター保護リレー)付きです。
- ローラー付き定盤により操作性に優れています。

●仕 様

- 電源…単相・交流・100V 50/60Hz
- 電流……………15A
- 消費電力……………1430W
- 無負荷回転数 …… 2300R.P.M.
- 使用ダイヤモンドブレード径
…………… 355mm(外径)×25.4mm(内径)
- 最大切込み深さ …… 125mm
- 本体寸法(長さ×高さ×巾)
…………… 570×265×360mm
- 重量……………13.5kg

●通常附属品

- 片ロスパナ(17mm)

●特別附属品(別販売)

- ALC用ダイヤモンドブレード

●用 途

- ALCパネルの切断

●仕様

- 電源…単相・交流・100V 50/60Hz
- 電流……………15A
- 消費電力……………1430W
- 無負荷回転数……………2300R.P.M.
- 使用ダイヤモンドブレード径
……………355mm(外径)×25.4mm(内径)
- 最大切込み深さ……………125mm
- 本体寸法(長さ×高さ×巾)
……………570×265×360mm
- 重量……………13.5kg

●通常附属品

- 片口スパナ(17mm)

●特別附属品(別販売)

- ALC用ダイヤモンドブレード

●用途

- ALCパネルの切断

●ご使用に当たりますでの注意事項

ご使用前には取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

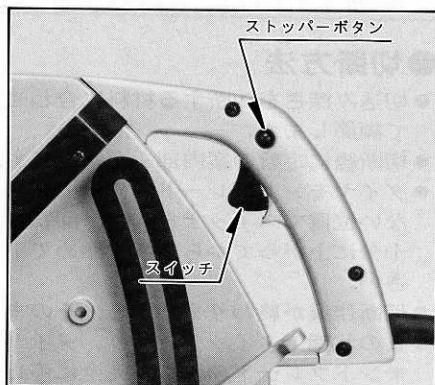
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に、ダイヤモンドブレードは仕様説明に従い正しく、確実に取付いているかを確認して下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 延長コードを使用される場合は、十分な太さの線径のコードをできる限り短くしてご使用下さい。線径の細いコードや、あまりに長いコードは電圧降下が大きくなり、力不足やモーター焼損の原因となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落としたり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中は刃物及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。また刃物は回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率良く、きれいな仕上げ面が得られます。
- 湿った場所、濡れた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近付けないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。また、屋外の作業はゴム底の運動靴等をはかれると安全です。
- 本機はお子様の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光の当たるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐ外すようにして下さい。スイッチをいれるまえには、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、及び停電の際には差し込みプラグをぬくように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、差し込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いたときには、直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 安全で能率良く作業をしていただくためには、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り離すと切れます。

またスイッチを引いた状態で握り部のストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。

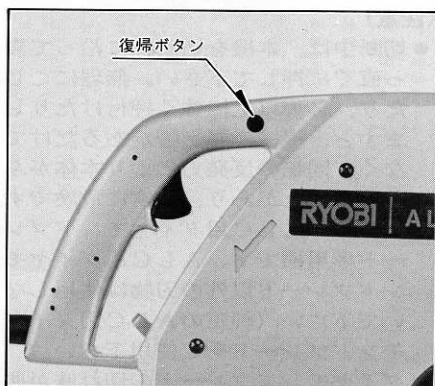
この場合再度スイッチを引くとストッパーボタンが外れスイッチは切れます。連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



●サーキットプロテクター

- 本機にはモーター保護のため過負荷状態になった場合サーキットプロテクター(モーター保護リレー)が働き、電気を遮断します。

- サーキットプロテクターが作動した場合は、必ずスイッチを一度切り1～2分後に復帰ボタン(ハンドル右側の赤いボタン)を押して下さい。使用できる状態に戻ります。

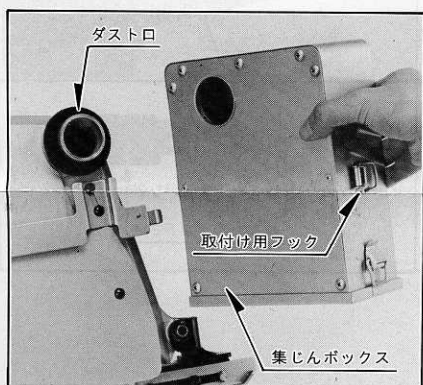


●集じんボックス

- 集じんボックスを取付けてご使用下さい。ホコリの少ない作業ができます。

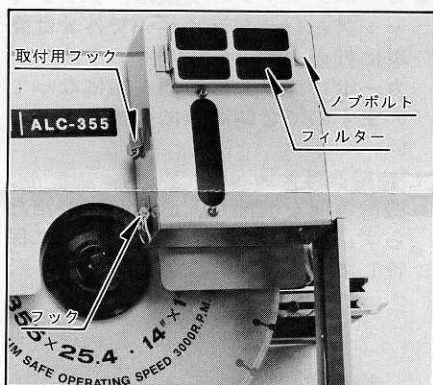
- 集じんボックスの取付けは、本体カバーのダスト口に集じんボックスの裏面の穴を合わせて差し込み、両側面の取付け用フックで本体に取付けます。

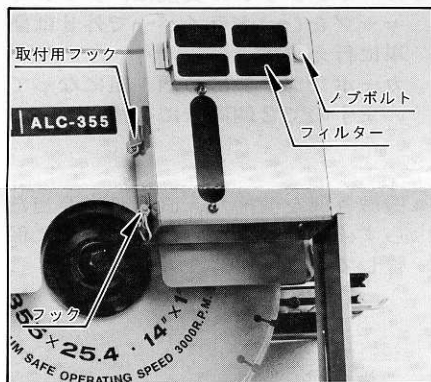
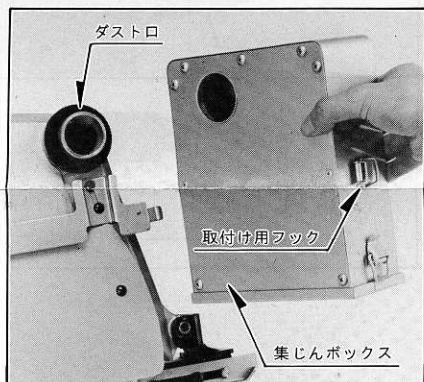
- 集じんボックス内の切削粉は、左下のフックを外して集じんボックスの下カバーを開ければ簡単に取出せます。



- 切削粉をあまり溜めすぎますと集じん効率が低下しますので、早めに捨てるようにして下さい。その時、同時にボックス前面のノブボルトを外し、フィルターを取出して目詰まりを払って下さい。

*ダスト口に集じん機を接続して使用することもできます。集じんボックスを外し、38φのダストホースを接続して下さい。



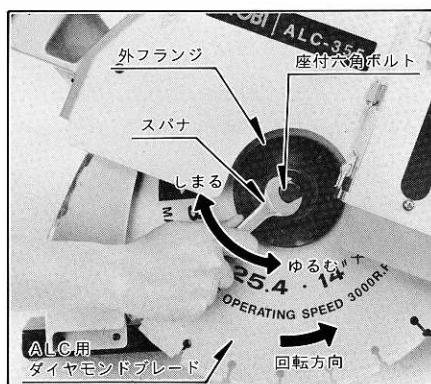
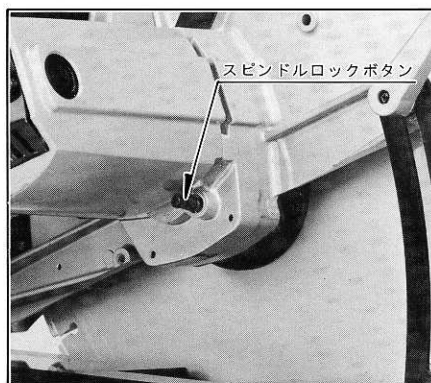


●ダイヤモンドブレード の取付け

- 切込み深さを浅くし、スピンドルロックボタンを押しながら付属のスパナで座付六角ボルトをゆるめます。
- 座付六角ボルト、外フランジを外します。
- ダイヤモンドブレードの回転方向に注意してダイヤモンドブレードの内穴を内フランジに合わせ取付けます。
- 外フランジ、座付六角ボルトを取付けしっかりと締付けて下さい。

*本機はALC切断用のダイヤモンドブレード専用機です。

本機の性能を十分に生かすため、純正のALC切断用ダイヤモンドブレードをご使用下さい。



●切込み深さの調節

- 締付けレバーをゆるめ、本体を上下させて必要な切込み深さに調節して下さい。調節後は締付レバーをしっかりと締付けて固定して下さい。

